



おひさま運動

- はようの声ひびく 思いやり育てる やさしいまち
- ろげよう読書 感動あふれる 学びのまち
- わやかな汗 心と体きたえる 健康なまち
- もろう決まり みんなでつくる 安全なまち

秋季ウォーキング「歩こう会」開催



宝暦 2 年 (1752 年) 刻印の荷付石井関の水神様の前で

10 月 23 日 (日) 秋季歩こう会を開催

今回は昨年調査した和田地区の史跡巡りをしました。下和田地区の「ナントドン」の墓「新宮橋の水神様」上和田の「金峰山さあ」の足跡「荷付石井堰の水神様」「立神橋」など、同じ自治会(地区)にいてもなかなか足を止めて見ることがありませんでしたが、文化財の案内看板を読んでもそれぞれ重要な場所であったことが書かれています。

「温故知新」和田地区には沢山の史跡があります。天気の良い日には散歩がてら巡ってみてはいかがでしょうか。

中和田の堀川にある 3 月に完成した「園田井堰」も見学しました。これまでの板井関から洪水の時は自動で倒れる転倒井関に改修され以前より安全に管理ができ便利になったそうです。

中和田自治会健康セミナー開催



「動ける体」を維持していつまでも若々しく

10 月 16 日 (日) に中和田自治会健康セミナーを開催しました。今回は肩回りのほぐし方の紹介です。片手づつ上に真っすぐ上げ、手が耳に触れるまで後ろに引く(二の腕と脇を真っすぐにする)次に両手を上げ腕を思いきり前に出しお腹を引っ込めておへそを見る。(肩甲骨を動かし肩回りの血行を良くする)



「動ける体」で作業もスムーズに 11 月 13 日には、地域づくり事業の市道作業を行いきれいになりました

女性学級「文化祭の作品作り」

10 月 14 日 (金) に女性学級を開催

今回は文化祭に展示する作品づくりを行いました。下和田の井上真由美さんを先生に迎え「ダイヤモンドアートのキーホルダー」を作成しました。デザインも一人一人違い細かい作業を黙々としました。最初は細かい作業で大変でしたが、慣れてくると楽しくなり 2 個目に挑戦する方もいらっしゃいました。楽しい時間を過ごしました。作品は、文化祭でご覧ください。



細かい作業: 作品の完成を楽しみに  
高齢者学級; フレイル予防を学ぶ

10 月 28 日に「フレイル予防について」の講話を前田保健師にして頂きました。フレイル予防のポイントは、**運動、食生活、禁煙・適正飲酒、適切な服薬、活発な生活(社会参加)、口腔ケア、生活習慣病**などです。**重症化を防ぐための大切なことです。フレイルとは、加齢による気力、体力が低下した状態のことです。**



今回は、食生活改善推進員の調理されたフレイル予防食のお弁当を作っていました。

12 月の行事予定

日	曜	行 事
1	木	第 5 回役員・総務教養部会 19:30
2	金	文書発送 和田小持久走大会 スマホ教室 19:00
4	日	和田小・吹中合同資源回収 朝 7:30 までに出して下さい。
8	木	第 3 回地区運営委員会 19:30
12	月	楽しいハーモニカ 10:00
16	金	文書発送 リズム体操 10:00 地域連携アドバイザー 19:30
20	火	ヨガクラブ 20:00
24	土	フラダンス教室 13:30
28	水	館内すす払い、迎春準備 仕事納め

○「50 年後も子どもたちが住みたいと思う地域にしたい」その思いが地域を良くする原動力になるのです。住んでいる私たちが和田大好きになること・・・1 歩を踏み出そう

# 公民館だより

# 和田 その1

第 339 号  
令和 4 年 11 月 18 日発行  
日置市吹上町和田地区公民館  
電話 099-296-3031  
ホームページ <http://wada.jpn.org/>



第 5 期地区振興計画（令和 3 年度～5 年度）  
地区のテーマ；『ずっと住みたい地域を目指して』  
三世代 仲よく、住んでよし 学んでよし、  
和田地区・和田小学校  
和田地区人口：総人口/468 人 男性/229 人 女性/239 人 世帯数/257 世帯 4.11.1 現在

『いつか誰かに変えてもらう』のではなく、  
『自分たちに何ができるのか』  
最初の一步を踏み出そう！

## 『和田地区の資源を活かそう 未来会議』開かる



移住の決め手は「思いやりのある人々との出会い」村上さん

鹿児島県の地域連携アドバイザー事業を活用し、和田地区の資源を活かそう未来会議」を 11 月 11 日に開催しました。

講師は、龍郷町秋名に移住され地域の皆さんと秋名地域の地域づくりに取り組んでいる村上祐希さんです。

はじめに県共生・協働センターも谷本美恵子課長からアドバイザー事業の紹介がありました。

村上さんは、事前に和田地区の各自治会を見学されてよく整備された道路や田中城跡ひまわり館に地域の方々の地域を良くしたいという思いが伝わったと話されました。

講演の内容は、次のとおりです。

演題「地域資源を生かした持続的な協働と  
にぎやかな過疎を目指して」

横浜市から奄美大島の龍郷町に移住したきっかけは、奄美を旅で訪れた時に、地元の方々が親切に接して下さり、その後リピーターになり、気に入って移住を決意。

### 地域おこし協力隊として移住

龍郷町には、平成 28 年に過疎、人口減に悩む「荒波（秋名）地区に人の流れを生み出すプロジェクトデザイン」を使命として地域おこし協力隊員として着任し移住。

地域の文化資源、休耕田など活用方法を検討し、大学のフィールドワークの受け入れ、課題解決型ワークショップの運営支援を行ってきました。

### 地域のありのままの自然、生活を継承

### シマのくらしぶりを残したい

平成 30 年に地域貢献団体「一般社団法人イ・モーレ秋名」を設立し、地域の人材や資源を生かして雇用を創出し経済効果を生み出し、移住者の増、地域の再生に良い住みやすい地域づくり目標に活動。

### 活動で心がけたことは・・・

- ① 自分ごととして考える
- ② 人を大切にし合う関係づくり
- ③ 個の力を大切に→多様な個の力が地域の未来を支える
- ④ 活動は、大変だけど楽しい

「50 年後も子どもたちが住みたいと思う地域にしたい」この思いが大切

そんな地域を応援するファンを呼び込み続ける挑戦

魅力的な物語は必ず地域にある  
その物語を楽しんで挑戦する地域は人を惹きつける

横浜国立大学生のフィールドワークを機に、気に入って龍郷町に就職を決めた学生も出てきたそうです。



講師を囲んで記念写真・「協働の力で最初の一步を」

未来会議に参加して・・・アンケートより

- 地域の方々が地域を思う心が大切かな
- 目的・目標・手段を何回も話し合い、具体化していったことに感心した。
- 行動を起こすことが大事だと思った
- チャレンジすることの大切さ、自分ごととして取り組むことの大切さを思った

次回は、12 月 16 日(金)19:30～  
村上さんと元気の出る地域づくりの話を  
しましょう。準備の都合上、参加を希望  
される方は、地区公民館へ連絡を

## 和田づくり；いい話 3題



### コスモス満開；笠岡自治会有志の皆さんありがとう

笠岡の国道沿いにきれいなコスモスが咲きました。今年は、植付け時期に暑い日が続き管理が大変だったようです。



公民館が華やかに

上和田公民館には菊の懸崖が飾られています。下野勝芳さんが 1 年育てた作品です。趣味を地域に還元、ありがたいです。



標語が幟に・山口先生

(12 月の行事予定は裏面に)

県国保連合会健康増進コンクールに応募したところ一般の部で和田小学校の山口麻子先生が鹿児島県知事賞に！小学生標語の部でヒベイロ・スカイラー君が入賞！